

或問

第 17 号

論文

十九世紀上半葉基督新教傳教士在漢語詞彙史上之地位 // 1910 年代初期における福州と台湾間の帆船航運 // 来華耶穌会士的第一篇漢文天主教作品 // 来華耶穌会士羅明堅的漢語學習 // 衛三畏與《聊齋志異》 // 西医東漸をめぐる「筋」の概念と解剖学用語の変遷 // 德国図書館中文藏書述要 // 清雍正時代日本銅進口状況 // 関於清學部編《簡易識字課本》(1909) // 李善蘭・艾約瑟譯胡威立《重學》之底本 // 沱江流域與潮汕地区的糖業比較 (1858-1938)

学会情報

世界漢語教育史研究学会開催、その他



表紙絵解題：139 ページ

近代東西言語文化接触研究会
2009.12

目 次

論 文

十九世紀上半葉基督新教傳教士在漢語詞彙史上之地位	莊欽永・周清海.....	1
1910 年代初期における福州と台灣間の帆船航運	松浦 章.....	21
来华耶稣会士的第一篇汉文天主教作品	张 西平.....	35
来华耶稣会士罗明坚的汉语学习	张 西平.....	39
卫三畏与《聊斋志异》	顾 钧.....	45
西医東漸をめぐる「筋」の概念と解剖学用語の変遷	松本秀士.....	49
德国图书馆中文藏书述要	杨 慧玲.....	63
清雍正时代日本铜进口状况——童华《铜政条约》分析	孙 晓莹.....	69
关于清学部编《简易识字课本》(1909)	沈 国威.....	83
李善兰・艾约瑟译胡威立《重学》之底本	韩 琦.....	101
沱江流域与潮汕地区的糖业比较 (1858-1938)	赵 国壮.....	113

学会情報

世界中国語教育史大会開催	135
2010 年の学会情報	138
表紙絵解題	内田慶市.....	139

近代東西言語文化接触研究会	62
『或問』投稿規定・執筆要領	112